

各市の 社会教育事業の紹介

枕崎市の取組



「小原國芳先生『勉学の道』歩こう会」

今回で3回目を数える「小原國芳先生『勉学の道』歩こう会」を11月10日（土）に実施しました。時折小雨が降るあいにくの天気でしたが、72名という多数の参加者で実施することができました。久志の生誕地公園から桜山小学校までの12キロを約3時間かけて歩くという内容です。スタート前に生誕地公園の広場で開会行事を行いました。その際、参加者は昨年7月に完成した真新しい公園及びモニュメントや歴史資料に興味深げに見入っていました。特に子どもたちは、小原先生が歩かれた時期と自分たちが同世代であることから、熱心に読んでいました。



久志（南さつま市）の生誕地公園にて



開会行事後、9時10分にスタートしました。最初に急な登り坂が続いて足が重くなったり、途中薄暗い寂しげな林道が続いて不安な気持ちになったり、当時の小原少年に思いを馳せながら思い思いに歩いていきました。

12キロの山道を歩くのは初めてという子どもがほとんどで、最後までたどり着けるか心配されましたが、全員が無事に歩ききることができました。

本事業をとおして、参加者は、小原國芳先生の学問への情熱と不屈の精神を身をもって感じ取ってくれたものと思います。また、主催者側の「小原國芳先生の偉業を末永く後輩たちに受け継がせる」という目的も達成されたのではないかと思います。今後も引き続きこの「小原國芳先生『勉学の道』歩こう会」を実施していきたいと思っています。

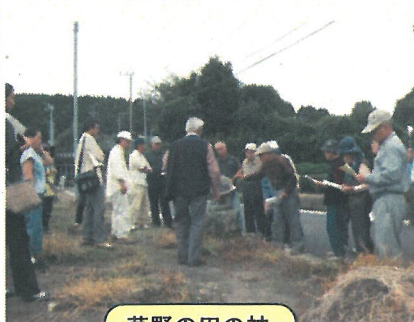
枕崎史跡めぐり



喜入氏累代の墓所

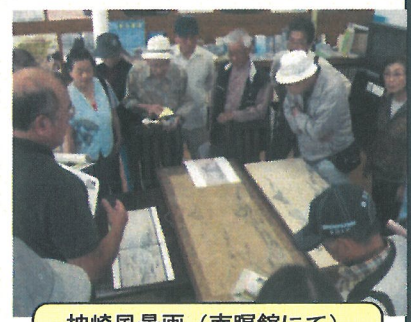
10月14日（日）に「枕崎史跡めぐり」を実施しました。枕崎市内の史跡・文化財を見聞することで、地域文化への理解を深めるための取組で、昨年6年ぶりに復活しました。昨年は12月14日の開催で大変寒かったことから、今年は気候のよい秋季に開催しました。

コースは、市立図書館で「松之尾遺跡出土の貝製腕輪」の説明を受けた後、坊津一乗院の末寺岩崎寺跡、枕崎の領主であった喜入氏累代の墓所、喜入氏入部前の領主島津忠長関係の墓といわれるすしよほか 図書館のほか、市内3ヶ所（田布川、小園、茅野）にある田の神等の史跡を巡り、最後は南冥館所蔵で江戸時代末期に薩摩藩の絵師馬場



茅野の田の神

伊歳が描いた枕崎の風景画をもとに、枕崎という地名の成り立ちについての説明を受けました。それぞれの講師が工夫を凝らした説明を行ったこともあり、当日はもちろん後日まで質問が寄せられるなど参加者からの評判は上々でした。



枕崎風景画（南冥館にて）